

大 転 換 期 の 到 来



チッソ旭肥料株式会社
代表取締役社長 荒木 郁夫

新しい年、平成7年（1995年）を迎えました。年頭にあたり、読者のみなさまのご多幸とご繁栄をご祈念申し上げます。

本年は、わが国の敗戦で第二次大戦が終結した昭和20年（1945年）から、丁度50年が経過した節目の年であります。この一年間、戦後50年の回顧や分析・評価などが色々な分野で行われることでありましょう。それは、近づいてきた21世紀への展望と模索でもあります。折しも時代の大転換期です。これを誤りなく乗り切るため、各方面で突っ込んだ議論や考察がなされることは大変結構なことでもあります。

さて、農業を取り巻く環境も、まさに大転換期にさしかかっています。一昨年の冷夏による水稲の未曾有の不作、ウルグアイ・ラウンドの決着によるミニマム・アクセスの受入れ、昨年は一転して酷暑となり大豊作、そして「農業対策大綱」が示されました。そして、本年は戦後半世紀続いた食糧管理法に代わって、新食糧法が施行されます。内外価格差、規制緩和、環境保全についての社会的関心の高まりもあります。昨今、わが国の製造業は、極端な円高から「産業の空洞化」が危惧されていますが、農業の空洞化は国土の荒廃をもたらし、単に一産業の空洞化では済まされない問題であります。

このような厳しい環境下、新たな農業政策が打

ち出されてきておりますが、国の根幹にかかわる農業の将来を見据えて、引き続き長期的視点に立った農業政策の立案実施が強く求められるところであります。

ご承知のように弊社は、長年の開発努力をふまえ、時代を先取りした機能商品を販売しております。肥料成分の溶出がコントロールされ、“環境にやさしい肥料”として各方面から評価を受けておりますコーティング肥料「ロング®」、LPコート®をはじめとして、緩効性窒素肥料「CDU®」、泡状化成肥料「あさひポーラス®」、打ち込み肥料「グリーンパイル®」、育苗床土資材「与作®」等々であります。

弊社は今後とも、変革期にある農業に求められる技術改革の方向を見定めて、商品の改良や新商品の開発に取り組み、わが国農業の発展に貢献していきたいものと心から念願しております。

本誌「農業と科学」は、昭和44年発刊で既に四半世紀を迎えておりますが、引き続き内容の充実化を図り、新しい農業技術や栽培事例の紹介を行い、皆様方にいささかなりともお役にたてればと考えております。

本年も、本誌をご愛読いただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

本 号 の 内 容

§ 大転換期の到来	1
-----------	---

チッソ旭肥料株式会社
代表取締役社長 荒木 郁夫

§ 被覆尿素を用いた水稲育苗箱全量施肥技術	2
-----------------------	---

—環境保全型施肥技術の新展開—

秋田県農業試験場大湯農場
(農水省土壌肥料指定試験地)

金 田 吉 弘